

# 平成31年度 一般会計予算討論

賛成多数で可決



新河岸川を泳ぐこいのぼり

賛成

効果を見極め持続可能な行財政運営を

青藍会 加藤恵一 議員

歳入は、納税義務者や新築家屋の増加により約2億9600万円増の163億3200万円と堅調な伸びを見込んでいる。歳出では、産前・産後サポート事業や産後ケア事業などが新たに実施され、子どもを安心して育てられる環境がさらに向上することを期待する。

平成31年度は、合併特例債縮減後の行財政運営を見据えながら自主財源の確保策を推進し、事業効果を見極め、選択と集中を図り、持続可能な行財政運営をお願いする。

反対

基金120億円の一部活用で生活守れ

日本共産党 新井光男 議員

当初予算381億円に対して120億円の基金がある。使い道が自由な財政調整基金29億円。40億円の目標設定は多すぎる。基金の一部を活用し、学校給食の無料化、小中高生のフットサルやテニスコート利用料の軽減をすべき。公民館とホール改修は市民の学習権の保障を。児童虐待防止の対応は、職員の専門性を確保することが重要。学校体育館のトイレの洋式化と、エアコン設置については地元の企業を使うべき。上福岡駅東口暫定歩道橋は工事の際に地元の商店の営業に影響が出ないように考慮すべき。

賛成

計画される事業効果に期待

公明党 島田和泉 議員

予算全体では市税や地方消費税交付金などが増額とされた反面、社会保障関連経費の増、地方交付税の合併算定替えによる遞減で普通交付税の減少が見込まれるが、「市民への情報提供」、「自治組織への支援」、「文化芸術活動の振興」、「健康管理」、「都市整備」とバランスよく事業配分が計画されていると総合的に評価。その上で公共施設の改修や生活インフラの整備を進め、前年度比約22億8800万円削減された計画による事業効果が最大に発揮されることを期待する。

賛成

将来を見据えた税収確保策と財政運営を

信政会 西 和彦 議員

市税全体で1.8%増の163億3200万円となり、地方交付税も3億円増の36億円と堅調な歳入が見込まれている。今後、企業誘致や国道254号バイパスふじみ野地区の早期実現など、将来を見据えた税収の確保策に期待する。

歳出では、上福岡駅東口駅前広場の暫定横断歩道橋整備や自治組織に対するLED防犯灯の電気料金補助制度など適切な予算計上と評価する。今後公共施設やインフラ資産の老朽化対策に当たり、財務諸表の分析のもと長期的な視点に立った財政運営を期待する。

賛成

地域の人材に投資できるように

会派外の議員 民部佳代 議員

子育て支援が功をなし働く世代の流入が増えたことで、納税義務者数、一人当たりの納税額も増えた。ふるさと納税による個人市民税の減収は無視できない額になっているので、市民に理解を求めてほしい。

出張所の支出は増えるが、毎週日曜開庁は他にないサービスだ。混雑緩和にもなり高く評価する。文化振興は単年度で終わる簡単な活動だけでなく、時間をかけて作り上げる文化活動も支援する制度にしてほしい。地域協働学校が全小学校で始まるが、地域の人材に報酬が出ないのは今後の課題だ。